



まなべあー通信

第5号
2007.2.19 発行

「まなべあー通信」では、新たな生涯学習推進構想策定に向けた取り組みをはじめ、「生涯学習」に関わる様々なテーマを取り上げます。

今、生涯学習に求められているものとは？～生涯学習推進フォーラム開催～

去る12月16日(土)、生涯学習総合センター(ちえりあ)を会場に札幌市生涯学習推進フォーラムが開催されました。

国立教育政策研究所総括研究官の笹井宏益氏による「生涯学習施策の動向と今後の展望」についての基調講演に続き、生涯学習を実践している立場から、札幌リーディングサービスグループの田中氏、フリーキャスターの林氏の2名、そして検討会議の久村座長、基調講演の笹井氏をパネリストに迎え、同じく検討会議の木村副座長をコーディネーターとして「時代が求める生涯学習の役割とは？」と題したパネルディスカッションが行われました。

このフォーラムを通じて、時代の移り変わりとともに変化する生涯学習の役割を知ることができたのではないのでしょうか。

フォーラムの概要は、HP「札幌市の生涯学習」での公開を予定しています。



笹井氏による基調講演



会場からも活発な意見が出された
パネルディスカッション

第5回検討会議開催結果

平成18年11月14日(火)、第5回検討会議が開催されました。

新たな生涯学習推進構想の素案について事務局から説明し、その後、意見交換が行われました。

(意見の抜粋)

- ・大学等高等教育機関との連携について、現に単位互換の連携の例もあるので、それを踏まえて検討していくべき。
- ・他の主体と札幌市を比べると役割のレベルが違うのでは。
- ・全体的に事業の例の書き込みが足りないのではないか。
- ・札幌市はインターネットを利用した講座提供について消極的という印象がある。
- ・市が主体となって研究委員会をつくると、構想の進行管理と平行して、将来的に幅を広げるためいろいろな調査ができるのでは。

また、基本施策1の成長段階の区分についてどのような基準、考え方によって行うべきか活発な意見が交わされました。

これらの意見をもとに、素案の内容を検討・修正し、名称についても委員の意見を取り入れ、「第2次札幌市生涯学習推進構想」としました。

この素案につきましては、1月5日(金)から2月5日(金)の32日間公表し、市民の皆様からの意見を募集しました(パブリックコメント)。今後、いただいた意見を検討し、第2次札幌市生涯学習推進構想を最終決定していきます。



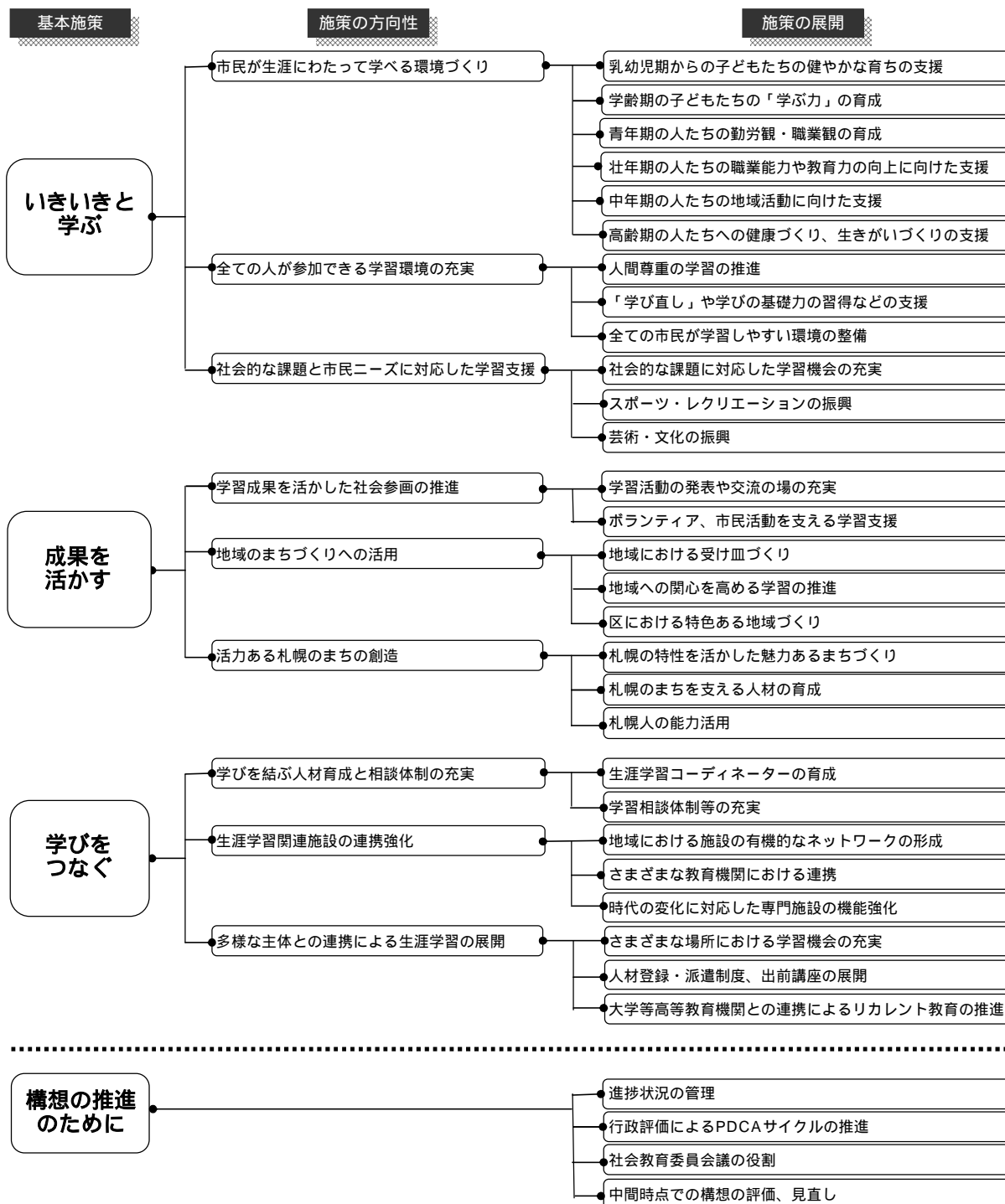
札幌市生涯学習推進構想
(H7.4月策定)



第2次札幌市生涯学習推進構想のデザインイメージは？(3月策定予定)

(裏面に続く)

第 2 次札幌市生涯学習推進構想 施策体系表（素案から）



【第 6 回札幌市生涯学習推進検討会議】

日時：2/23（金） 10:00～

場所：STV 北 2 条ビル 6 階 B 会議室（中央区北 2 条西 2 丁目）

詳細につきましては、こちらをご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/gakushu/suishin/newkoso.html>

札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課
 電話 011-211-3871 FAX 011-211-3873
 E-mail manabi@city.sapporo.jp